

○寺院 永福寺、境内東西十間、南北十三間半、年貢地。熊野宮の西にあり。熊野山と号す。府下大町一源院の末山真言宗なり。開基の年代をしらず。文祿中（一五九二—一五九五）頼円と云僧住せりと云。地藏を本尊とし客殿に安す。

○古蹟 館跡、村中にあり。東西十九間、南北三十三間、天正の頃（一五七三—一五九一）葦名氏の臣荒井因幡某と云者居りしと云。今は民屋となり、土居堀の形存す。

（附）

上 荒 井 村

昔は荒井村と称せしが、同様の村三あるゆえ上、中、下を加うと云。府城の西南に当り行程一里二十一町、家数三十五軒、東西二町三十間、南北一町五十間、四方田圃なり。東五町三十三間、上新井新田村の界に至る。其村まで六町五十間余、西三町金屋村の界に至る。其村まで五町、南六町四十間、大河郡本組本郷村の界に至る。其村まで九町余、北六町二十四間、下小松村の界に至る。其村まで八町二十間余、又申の方一町三十二間、下郷村の界に至る。其村まで四町

○原野 北松原、村北二町にあり。東西四町三十間、南北一町三十間余、松樹多し、松露、初茸を産す。南松原、村より巳午の方三町余にあり、東西三町十間余、南北一町。かき松原、村より辰巳の方二町余にあり、東西四町二十間、南北一町四十間。壇前河原、村南五十間にあり。東西二町二十間、南北二十間余。町屋田河原、村より戌亥の方三町にあり、東西二町、南北一町。下河原、村より未申の方六町にあり。東西六町、南北一町、本郷村の入逢の秣場なり。昔鶴沼川の流れし跡と云。

○水利 本郷堰、本郷村の方より下野、金屋両村の田畝に灌ぐ。

○神社 十二天神社、境内東西二十間、南北九間免除地。村の戌亥の方三町十間にあり。鎮座の年代詳ならず。昔は葦名氏、世々崇敬ありて、社頭も広麗なりしとぞ。其後衰廢せしを、寛文十一年（一六七一）肥後守正之再興せり。祭礼八月二十一日、鳥居幣殿、拝殿あり。相殿八座、伊勢宮三座、一座は金屋村より移し、二座は下野村より移せり。熊野宮、本村より移せり。八幡宮、金屋村より移せり。山神、同上。天神、金屋村の端村西後庵より移せり。地神、西後庵新田村より移せり。神職、梅宮伊賀、先祖